



# たかまつ

<http://www.takamatsu-e.nerima-ky.ed.jp/>

学校の教育目標

●自ら学ぶ子

●思いやりのある子

●たくましい子

## 保護者の「やりすぎ」4分類

副校長 小貫義智

子供への関わり方で、保護者の「やりすぎ」は次の4つに分類されるそうです。

①：過保護 ②：過干渉 ③：溺愛 ④：無視

「①：やってあげすぎ、②：口を出しすぎ、③：認めすぎ、④：関わらなさすぎ」と言い換えることもできます。

やりすぎるとどこかでひずみが出ます。それが出やすいのが思春期です。では①～④の「やりすぎ」をしていると起きやすい「ひずみ」は次のA～Dのどれでしょうか。少し考えてみてください。

A：家庭内暴力 B：引きこもり C：非行 D：無気力

①：過保護 子供の自尊感情を損ねないことはとても大切です。しかし、子供の失敗を恐れるあまり、何でも先回りしてやりすぎると、子供は「失敗から立ち直る」、「ミスから学ぶ」という貴重な経験を失ってしまいます。失敗せずに成長を続けても、保護者の力ではどうにもならない場面が来ます。それは「受験、就職、恋愛」です。人生を左右しかねない選択で失敗した時、立ち上がる経験がないとどうしてよいか分からなくなります。そして何もできなくなるのです。「①：過保護→B：引きこもり」です。

②：過干渉 過保護と似ていますが、少し違います。「自分で決めて行動する。その結果については責任を取る。」当たり前ですが、大切なことです。しかし「勉強しなさい」「あの子と遊んじゃいけません」「あれはいい、これは駄目」と、何でも保護者が決めていて、子供は自己決定する機会を奪われます。その内に、自分で決めようという意思自体もなくなっていくのです。「②：過干渉→D：無気力」です。

③：溺愛 子供に愛情は必須です。けれども「愛の鞭」の言葉があるように、子供のためにあえて厳しい態度で接する場合があります。友達とケンカをして、先に手を出したとします。その時に「手を出したおまえが悪い」と叱るのか、「怒ってパンチしちゃうくらい、相手がひどいこと言ったのね」と言うのか。子供の言うことを全て鵜呑みにしていると、「自分は何を言っても認められるのだ」という間違っただ全感をもってしまう。やがて自分の思い通りにならないと怒り、暴れるようになるのです。「③：溺愛→A：家庭内暴力」です。

④：無視 アドラー心理学の考え方によると、人間は無視をされるのが一番つらいのだそうです。子供が保護者に無視をされて続けたら、どうなるでしょうか。「もっと自分を見て」と、より目立つ行動をするようになります。その場合、悪い行動に流れがちです。「④：無視→C：非行」です。

もちろん、保護者も教師も人間ですから、完璧ではありません。「今日はちょっと干渉しすぎたな」という日もあれば「無視したように感じただろうな」という日もあるでしょう。ただ、子供と接する時、自分はどういう傾向をもっているか意識することはとても大切ではないでしょうか。

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3 文化の日
				校庭 15:00 図書 15:00	校・図 14:00	校・図 14:00
4 振替休日	5 全校朝会 学芸会固定時間割始	6 委員会活動	7	8	9 学校公開 本探検3年 算数検定	10
校庭 一 図書 一	校庭 15:30 図書 15:30	校庭 14:30 図書 14:30	校庭 15:30 図書 15:30	校庭 15:00 図書 15:00	校・図 14:00	校・図 14:00
11 全校朝会 午前授業(全)	12 安全指導 兄弟学年遊び	13 就学時健診 午前授業(1~4)	14 児童集会 兄弟学年遊び予備日	15	16	17
校庭 13:30 図書 13:30	校庭 15:30 図書 15:30	校庭 一 図書 一	校庭 15:30 図書 15:30	校庭 15:00 図書 15:00	校庭 14:00 図書 14:00	校庭 14:00 図書 14:00
18 全校朝会	19 避難訓練	20 クラブ活動	21 社会科見学5年	22	23	24
校庭 15:30 図書 15:30	校庭 15:30 図書 15:30	校庭 14:45 図書 14:45	校庭 15:30 図書 15:30	校庭 15:00 図書 15:00	校・図 14:00	校・図 14:00
25 全校朝会	26	27 午前授業	28 音楽朝会	29 学芸会始	30 学芸会終	12/1
校庭 15:30 図書 15:30	校庭 15:30 図書 15:30	校庭 13:30 図書 13:30	校庭 15:30 図書 15:30	校庭 15:00 図書 15:00	校・図 14:00	

# 学芸会に向けて

学芸会委員会

今年は、2年に一度の学芸会があります。11月29日(金)が児童鑑賞日、30日(土)が保護者鑑賞日となっています。

学芸会のねらいは次の4つです。

- ①一人一人の個性と創造性を伸ばす。
- ②皆で考え協力する態度を養う。
- ③劇や音楽を通し表現の喜びを味わわせる。
- ④よい鑑賞態度を育てる。

これまでの学習で身に付けた力はもちろんのこと、学校生活で培ってきた様々な力を生かして表現する場と考えています。

5日から体育館での本格的な練習が始まります。友達と関わり合いながら、感じて、考えて、心豊かに表現してほしいと願っています。また、それぞれの役割や仕事を通して、一人一人の成長が見られることを楽しみにしています。

みんなの心を一つにし、支え合って劇を創り上げ、終わった後に大きな達成感が味わえる、そんな学芸会にしたいと思っています。

子供たちの力に、どうぞご期待ください。

当日は多くの皆様のお越しをお待ちしております。



# 高学年の窓(5年)

10月10日～11日、軽井沢移動教室に行ってきました。台風の影響で1泊早く切り上げ帰校することになりました。しかし、臨機応変にスケジュールを調整して、心に残る思い出満載の、充実した2日間を過ごすことができました。

1日目に創作した俳句の一部をご紹介します。

- ・火の周り踊り踊って汗まみれ (内田 諒)
- ・カーリング初めの一步即転ぶ (金子健士朗)
- ・バイキング皆笑って食いまくる (佐藤海璃)
- ・バスレクの「マリーゴールド」誰歌う (隅井律希)
- ・カーリングかすかに滑る音がする (バウ亜蘭)
- ・浅間山雄大な空秋の雲 (平田好誠)
- ・バスの中はしゃぎまくって電池切れ (廣吉 紬)
- ・楽しみだマイムマイムを踊るのを (堀山心美)
- ・天高くきずな深まる灯火や (大平伊織)
- ・りんご狩り大きな口でまるかじり (町野はる)
- ・バイキングおいしいものを食べつくす (吉田終登)
- ・お土産は何を買おうか迷います (渡邊理菜)
- ・出発だみんなで協力乗り切ろう (井塚 裕)
- ・りんご狩り汁がジュワつとあふれ出す (酒井咲耶)
- ・楽しみだキャンプファイヤー消えないで (橋本和希)
- ・カーリングつるりと滑り真ん中に (藤本莉緒)
- ・秋の葉がキラキラ落ちて滑り台 (増山 潤)
- ・初めての移動教室忙しい (岩本 奏)
- ・別れ告げ名残惜しいがさようなら (岡野涼真)
- ・カーリング「そだねーそだねー」言いまくろ (野沢寿也)
- ・りんご狩りぱくぱく食べて元を取る (豊田爽佑)



## 11月の生活目標

## 気持ちのよい言葉で心をつなごう

言葉にはとても素晴らしい力があります。あなたの一言で、相手を笑顔にさせたり、幸せにしたり、喜ばせたりすることができるのです。一方、またその一言で相手を悲しませたり、傷つけてしまったりすることもあります。もしかしたら、あなたの一言で相手の人生が変わるかもしれません。言葉は人と人をつなぐ大事なものです。

たくさん言葉がある中でも「ありがとう。」は特別な言葉だと思います。目を見て「ありがとう。」と言われると、とても嬉しくて温かい気持ちになります。「こちらこそありがとう。」と言いたくなりますね。

お互いに優しくなれる魔法の言葉「ありがとう。」を心がけて生活してみると、素敵なことが起こるでしょう。

気持ちのよい言葉で温かい心と心をつないでいけるように、声をかけていきたいと思っています。今から始めよう！「ありがとう。」 (生活指導委員会 松島 ほのか)

